

平成25年度 第1回

川合市長と語り合うタウンミーティング

～ 女性目線のまちづくり・まちの活性化 ～



日時：平成25年5月7日（火）

午後6時00分～7時40分

場所：本庁舎7階第5委員会室

## 参加者

川越おかみさん会会員の方 18名

## 出席者

市長、奥山副市長、産業観光部長、市民部長、産業観光部参事

## 意見数

分類	件数	内容	頁
保健・医療・福祉	4	ワークフェア	19
		企業とのマッチングフォーラムの開催	19
		おむつ交換及び授乳スペース	25
		パパママ応援ショップ川越市版	25
都市基盤・生活基盤	13	水路を子どもの遊び場として	4
		川越駅東口駅前花壇	7
		観光客の方に安心して歩いてもらえる交通対策	8
		送迎バスのルート	9
		歩道の整備	13
		川越駅東口ペDESTリアンデッキ	14
		住んでいる人たちに住みやすいまちづくり	15
		自転車専用道路	17
		電線地中化	21
		道路の拡幅	21
		一番街の一方通行	25
		新河岸川の護岸	25
水上公園の遊歩道・新河岸川沿いに曼珠沙華を	26		
産業・観光	19	商業に対する心遣い	3
		子どもを主体にした観光のまちづくり	4
		トイレの整備	5
		川越の再発見	5
		川越の歌	6
		駐車場について	9

		トイレの外国語表記	9
		連休中の人出	9
		織物市場の整備	10
		鶴川座	10
		連休中の人出	12
		一番街の状況	13
		空き店舗	14
		川越まつりのルート	16
		観光客用トイレ	17
		観光地の自転車駐輪場	17
		川越まつりの観光客対策	19
		トイレの洋式化	24
		街路灯の電気代の補助	24
環	境	1 路上喫煙防止	21
そ	の	3 イベントの記念品	5
	他	空き家の活用	12
		織物市場での桐生市のイベント	22
	計	40	

## 意見交換（要約）

### 《商業に対する心遣い》

意見 最初にお聞きするのは、川越の市長さんは、株式会社川越の社長さんで、私たちは社員というか、川越は商人のまちです。それでできれば、商人、商工会議所もそうなんですけれども、商業に対しての心遣いじゃないけど、そういうことを社長さんと、私たちが社員という感じで進めていってもらえればなど、難しいでしょうか。

固くならないで、みんな、市長さんとこういう時間なんて持てないと思いますので、おかみさんたち、いつもの勢いで元気によろしくお願いします。

市長 今の点について、本当に川越は商業のまちだと私も思っています。確かにお城があって、城下町ではあるんですが、今、残っているものもお城関係のものは極めて少ないですよ。どちらかという江戸時代から栄えてきた商人が残してくれたもの、蔵づくりであるとか、そういうものが観光の中心になっていることからわかるように、やっぱり川越にとって商業というのは、何というか、今までも一番栄えてきたし、今も中心となる事業だと思うんですよ。

そういう中で、行政がどんな支援ができるかということを考えたときに、残念ながら、今まで過去4年間でやってきた、それぞれ農業、工業、商業に対する支援策として、商業に対してやってきたことというのは、中小事業者の方のための融資の制度を充実したり、あとは地域振興券、商品券ですね、それを発行するときに1割分補助を出したという、そのくらいですので、今年から空き店舗を活用しようという、そのための制度もつくって、空き店舗を活用しようという人には、一定の補助を出しますよと、建物を改装したりするためのですね、そういう制度を始めたところなんです。いろいろ商売をやっている方からのご要望は、多分あるんだと思うんですが、こういうようなことをやってほしいとか、むしろそういうような意見をどんどん出していただいて、その中で行政として対応できるものに対応させていただくと、そういうような形を、ぜひ皆さんのほうから出していただけたらというようなことも考えておりまして。どうも行政のほうから考えていると、できることは今言ったような、何らかの形に補助を出すとかになってしまいがちですので、こういうことをやってくれば、川越の商売をやっている人のためになるとか、そういうものがありましたら遠慮なく出していただけたらと思います。

もちろん、全部に対応できるというわけではなくて、行政としてできることとできないことは、それはもちろんありますが、こっち側で考えているのは、どうも限度が

ありそうな気がするんですね。

意見 はい、わかりました。ありがとうございます。

《子どもを主体にした観光のまちづくり、水路を子どもの遊び場として》

意見 今、シャッターが閉まったお店を活用という話が出ましたから、それもお伺いしようかなと思っていましたね。とりあえず川越の観光のほうですけども、まちの中を歩いてみると大人の人が多いんですね。子ども連れというのがとても少ないんです。大人連れが来て、お土産を買うにも、ああ、これはどこへ行ってもあるなと思えば買いませんよね。でも子ども連れで来る魅力のあるまちであれば、お母さんにねだったり、お父さんにねだれば、必ず子どもに対してのお土産というのは買うんですね、欲しいものは。もうちょっと子どもを主体にした観光のまちができないかな。何とかそういうふうにはできないですかねと思うんです。

あと、市長さんが市役所に来るとき、歩いていらしていると前に伺ったんですけども、まだ田園がいっぱいありますよね、あそこに水路がいっぱいあるじゃないですか。よくテレビなんかで、アフリカのほうの水の汚いところを薬品できれいな水にするというのがあるんですね。そういうのを見ていると、水路の脇にある堀の汚い水でも、そういうものを使ってきれいにすれば、水路を自由に利用できないか。あその水路、田んぼの脇には、ドジョウはいる、ザリガニはいる、メダカもいると。子どもたちが遊べるようなところ、巾着田は、あそこは川がありますから、川越はそこまではいかないと思いますけれども。よく大学の先生たちが川をきれいにするために、水をきれいにするために、大きな石の置き方で、流れで水をきれいにするというのを、テレビなんかでもよくやっているんですね。だから、そういうので水路を何とか。農業のほうで難しいんでしょうけれども、田んぼの水路だけを巡回させて、何とか子どもが楽しく遊べるような、そういうところできませんかと思うんですけど、そういうのもちょっと考えてみてください。

今、税金でいろいろ国自体が大変なんですから、みんなが我慢して、次の世代に子どもたちが伸び伸びと勉強もでき、自然を楽しめる川越のまち、お城もいいんですけども、そういうところもつくってほしいなと思うんですね。よろしくお願いします。

市長 ご要望として承っておきますが、水路を子どもの遊び場として活用するというのは、なかなか。

意見 難しいですね。

市長 いいアイデアだとは思いますが。ただ、水路とか水を管理しているのは、市でなくて、荒川右岸であるとか別の組織が管理しているものだから、そちらのほうに働き

かけて、うまく連携しないと、なかなか実現が難しいかと思えます。

意見 これからは、地域がまちづくりをしなくちゃいけないと思うんですが。地方分権などもそう言っていますから、県や市とかまちがやっていけなくちゃいけない中で、そういう水路のほうも、市のほうとして取り組んでいただければなと思えますね。

市長 それは1つ、頭の中に入れて考えていきたいと思えます。

意見 よろしく願います。

#### 《トイレの整備、川越の再発見、イベントの記念品》

意見 日ごろ考えていること、まず1つは、トイレですね。もうちょっとトイレが、洋式が増えて、観光客の方も使いやすくすると。腰が悪かったり、子どもも最近は洋式トイレになれていたりするので、そういうのも増えてきたらいいなと、和式が必要な人も中にはいるとは思いますが。あと、やっぱりきれいにしてもらわないと、埼玉りそな銀行のところもそうですし、連雀町の公園にあるところ、汚いですよ、入ったことありますか、皆さん。私、入って、もう二度と入れないなというような。

意見 公的なトイレは和式が多いんですね。今、デパートなんか1つありませんけどね、公的なトイレは和式が多い。だから、男の人が考えるのかなとも思うんですよ。ほとんど和式は使いません、女性は。

意見 隣の市町村なんかへ行くと、体育館なんかでもウォシュレットがついていたりなんかして、ちょっとお金がかかるかもしれないんですけども。総合体育館なんかママさんバレーで行くと子どもが一緒についてくるんですけど、とても使い方が汚いですね。子どもが利用すると、やっぱりティッシュがそこら辺に散乱していたりということもあるんだと思うんですが、近所の市町村なんかは、大分そのようになってきているので、川越は大変大きいですし、全部が全部というのは無理かもしれないんですが、少しずつやっていってほしいなと思うので。

朝、よく歩くんですね、散歩すると、男の人は別に気にもせず初雁公園だとか、ああいうところへすいすい入ってくるんですけども、女の人がトイレに入っていくというのは余り見ない。今も意見があったように、ちょっと余りきれいじゃないのと、やっぱり冷たいですね、座るとね。成田山とかいろいろありますけれども。

やっぱり川越に生まれ育っていますので、少しでも川越を理解したり、どこかほかの土地とか国とか行ったときに、自分の住んでいるところのことが言えないと、恥ずかしいという気持ちなんかもあって、実は、朝、散歩をしていると、多分30代ぐらいの男の方ですかね、声をかけられたことがあったんですよ。「川越は観光、どこがいいですか」と聞かれたんですよ。「私は好きでね、リピーターなんですよ」と言っ

てくれるんですが、そうすると川越にはホームページがあるので、観光課とか、そこをクリックすると、いろいろ出てきますよというふうに話をしたんですね、「川越を好きでありがとうございます」と、まずお礼を言って、「いろいろなお店もあるし」と言ったら、「いや、そこに載っていないところで何か教えてもらえることはないですか」と言われたんですね。自分もふと言われたものですから、私の日課とすると、氷川様へ行って、まずご神木があるんですけれども、あそこをぐるぐるちょっと回って、成田山へ行くと、7時から1日のお務めが始まるんですけれども、そのときに説法をしてくれるんですね、そういうことって多分知らない人が多いと思うんですけれども、多分、そういう知らないことで、すごく川越はなかなか泊まってもらえることが少ないと思うんですよ、日帰りで来る人が多いんですが、そういう小さなことでも、昔からやっていることでいいことがあれば、いろいろな形でホームページに載せてもらうとか。いっぱいお客さんが来ちゃうかもしれないんですけれども、何かそういう、もっともっと昔からやっているところでいいところをもっと再発見して、観光客だけじゃなくて、もっとまちに住んでいる人たちも、もっと川越を知ろうよということでもやってもらうような何かがあれば、もう一つ、よくなってくるかなと思いますね。

あとこの間、たまたま着物のファッションショーというので出たんですけど、そのときに川越のお水とかいただいたんですが、ビニール袋でいただくので、あれももうちょっと工夫してかわいいものとか。記念品ですというよりも大したものじゃないけれども、何かお金がかからなくて効果のあるようなものが、ラッピングというんですか、よくわからないんですけれども、うまい言葉が言えないんですけど、そんなのもあったら、ちょっと行ってよかったかなと思うかなという気はしたんですけれども。市長 トイレの点については、この間、鉄砲隊の方から、和服で使えるトイレをもっと増やしてほしいという、そういうご要望もいただきまして考えていきたいと思っていますので。

#### 《川越の歌》

意見 今、皆さんがおっしゃったようなこととちょっと違うんですけれども、観光のことで、川越の明るいイメージをつくるために、私は川越の風景とかいろいろ携わった川越音頭ではないんですけれども、「ここは川越、城下町」というお名前を歌を、川越の名物で皆さんが口ずさんで川越、川越と、川越はこうですよ、こうですよと3番までいろいろなことが入っているんですけど、そういう曲をちょっと仲間で、そういうものができましたので、それを市長様に、皆様にお聞きいただいて、それを広めていただいたら、川越をアピールする合い言葉のような感じができると思うんですね、私は

それをお願いしたいと思って、一応、楽譜と歌詞とテープも持ってきました。そんなことを考えておりますので、よろしくをお願いしたいと思います。アピールのみでございます、観光のね、よろしくお願いいたします。

市長 それとの絡みでは、川越市の歌というのが昭和 30 年ぐらい、30 何年ぐらい、合併直後ぐらいにつくったんですよね。皆さん、ご存じですか。まだ皆さんは若いから。

意見 川越小唄ですか。

産業観光部長 いや、市民の歌という歌です。合併をしたときにつくった歌で、私、今でも歌えるんですけど。

市長 その歌は余り歌われないままお蔵入りになって、あることすら知らない人もいるんですけども、市民の歌をつくったらどうですかというご意見も最近言われているんですよ。

去年、豊島区の区制 80 周年に行ったら、豊島区は比較的最近、さだまさしに頼んで区の歌というのをつくったというんですよ。だから新しい感覚の新しい市の歌をつくってもいいのかなという、そういう考えもありますので、とりあえずは、聞かせてください。

意見 一応、題名は「ここは川越、城下町」という題名で始まりますので、こちらに歌詞と楽譜もね。

#### 《川越駅東口駅前花壇》

意見 私、電車通勤しておりまして、駅を降りますと、駅は表玄関でございますよね。花壇がございますよね。あそこが何年か前は非常にお花がきれいに、あそこの先ほど水路の件で管理というお話が出たんですが、あそこはどこが管理しているんでしょうか。

市民部長 道路環境整備課です。

意見 何年か前は、非常にまだ咲いていてもったいないなと思うようなお花もまめに入れかえて、きれいに整備されていたんですが、今はもう全然お花というのはなくて、もともと植わっていたコデマリとか、そういうものが勝手に生えているという感じで、出たすぐの左側の大きなアトレのほうの花壇ですね、あそこにはヒメジオン、ハルジオンってご存じですか、わらぶき屋根の廃家にぴゅっぴゅっと屋根に、あれが三、四本出ていますよね。そんな状態で、やはり観光客の方、たくさんいらっしやいまして、一番最初にぱっと駅を出て、本当、何か悲しくなるような花壇で、あれだったらとってしまったほうがいいんじゃないかなと思うような。いつも私はそれを毎朝見な



がらお店に通勤しておりますが、予算のかかることですし、いろいろあるんでしょうが、埼玉県でやっているロードサポートってありますよね、道をきれいにしようとか、花を植えようとか。どこかの団体と県に委託していてもいいんじゃないかなんて、そんなこともちょっと考えてみたんですけども。

市長 わかりました。なるべく早く対応します。

#### 《観光客の方に安心して歩いてもらえる交通対策》

意見 年間700万人ぐらいの観光客の方が見える割には、川越のまちそのものが何となくあか抜けていないし、ごみごみしているし、やはりその辺をもうちょっと考えていただきたいと思いますね。だから、要するにお金がないまちというか、いいところがいっぱいあるのに、歴史的な建物とかあるのに、何となくそれがよく見えていないというか、何かそんなような気がします。雰囲気的に、ちょっとほかのところと比べると落ちるのではないかなと、川越の城下町、蔵のまちをPRするにはですね。

5日も私、まちの中を歩いてみたんですけど、とても何か我々年配者が歩けるような状況ではないような感じがします。まちには小さい子からお年寄りまで、全部受け入れなければいけないわけですから、それにはちょっと対応し切れていないような気がしますね。もうちょっと考えていただいたらいいんじゃないかなと思います。

市長 確かに道路の通行の問題であるとか、それからいろいろ路地の整備であるとか、そういうのはまだ追いついていない部分がありまして、いろいろな面でまだまだという、そういう思いは私もあります。一方通行、観光客の方に安心して歩いてもらえるような、そういう方策についても、何とか今年度中には一定の結果を出したいなと、そういうことは考えています。

ご承知かどうかわかりませんが、2年前に、3年間検討した一番街の交通方策検討委員会から提言をいただいて、一番街の通りは、北から南への一方通行にしたらいいいという、そういうご意見をいただいたんですが、ちょっとその後、いろんなことがございまして実現できていないという面もありますので、それについては鋭意、地域の周辺の反対している人たちの理解を得るという作業をこの間、やってきてはいるんですけども、それについて今年度中には一定の形を出したいなと思っています。交通の問題はそれだけではなくて、周りの路地の通行なんかも考えていかなければならないというふうに思っていますし、まだまだやることがいっぱいあって、改善するところがいっぱいあるというのは承知しておりますので、その辺のところはご理解いただきたいと思います。

意見 そうですね、観光客を呼びたい呼びたいという割には駐車場の問題ですよ。

いつもそう思っていますけど。だから、観光バスで来たときといっても、駐車場が初雁球場さんの土地のほうにあるのかもしれませんが。遠いですよね、まちの真ん中からね、そういったことも少し考慮していただけたらいいかなと思います。

《送迎バスのルート、駐車場について、トイレの外国語表記》

意見 その一方通行の件が今出ましたので、その前にあそこは東武バスと同じように、物すごい高校のバスが通るんですよ。あの吉見のほうの学校まで通るんです。大きくマイクロバスに学校名を載せていますから、鳩山のほうの学校も通りますよね。みんな一番街を通るんです。あそこを通らなくたって駅には行けるわけですが、そういうものから先というわけにはいかないんですか。

市長 それも今、話し合いの中で、そういう通学バスであそこを通る必然性のないものについては、周りのバイパスを通るとか迂回してもらおうという、そういう方向で話し合いは進めているところです。

意見 あとはその駐車場の件ですけれども、もうまちの中に駐車場をつくるというのは、ちょっと無理な状態だと思うんですね。例えば鎌倉なんかは、八幡神宮の前の海のほうから、すっかり地下へ入って、ものすごい大きな駐車場をつくりましたけど、例えば一番街の下をものすごい駐車場に、どこかかなり遠くのほうから入り込んで駐車場にするとか、例えば伊佐沼のほうに大きな駐車場をつくって、モノレールで運ぶとか、やっぱりちょっとしたことでは、もう駐車場は解決しないと思うんですね。それとトイレの問題は、日本語だけで今書いてあるんですけども、ほとんど。やっぱり5カ国語ぐらいで書いていただかないと、市のほうからはアメリカ人とかフランス人が多いとかと言われますけれども、私の店では大体1位がもう香港、台湾、韓国なんですね、それに今、タイが増えていまして、それからアメリカ、中国ぐらいの順になっていますので、ほとんど日本語が聞かれないようなときもあります。そのくらいに外国人が今増えておりますので、やはりトイレは5カ国語ぐらいを書いてほしいなど。それから余り和式のトイレは要らないと思います。

《連休中の人出》

市民部長 ちょっとお聞きしたいんですけど、かなりこの連休、人が増えていましたよね。例年と比べると、実際にお店をやって、客数だとか売り上げだとかというのは、失礼ですがどのくらい例年に比べて。

意見 一番街に関しては、例を見ないほどの人出でした。それで、かなりもう売るのがなくなってしまったというところが続出しているみたいで。

市民部長 バブルのときに、かなり平成元年以降伸びてきましたけど。

意見 「つばさ」をやりましたけれども、あのとき以上だったかもしれません。ただ、一番街から横丁に集中していますよね。ちょっと外れて、例えば喜多院のほうとか、ちょっと大きくはお客様が流れてないんですよ。本当にもう少し仙波河岸だとか、仙波一族のお館跡だとかあるわけですから、もう少し伊佐沼のハスだって、これから出てくるし。

市民部長 回遊性ですよ。

意見 そうです、そうです。

市民部長 逆に聞いて申しわけなかったんですけども、通ってみたらすごい人出なので、かなり例年よりいいんじゃないかなということで、実際に商売している人に聞かないとわからないものですから。

意見 みんな本当にありがたいことだと言っていました。

#### 《織物市場の整備、鶴川座》

意見 最近思うんですけど、織物市場、あそこに人が結構、この間も桐生のほうからいらして催しもしていたんですが、建物が、建物の周りで足元が悪くて、あそこの中に入っていくまでがちょっときついんですよ。まして和服、18日の着物ショー、市の観光課ですかね、あそこにいらっしゃるんですけど、和服を着て草履履いて、あそこの砂利道のところに入っていくというのは、何か年寄りには足元が危ないかなと思いますし、入っても、この建物は何だろうと、歴史に詳しい方はいいんでしょうけれども、結局、川越は織物市場、結構、載っていますよね、ネーム的には。だけど、来てみて、何かちょっと一歩引くような景観ではないかと思うんですよ。

それで、ちょっといろいろ聞いた話ですと、道路から入ってくる道側のところの建物は、何か壊しても大丈夫だという建物があるみたいですよ。あそこを壊して有料駐車場にして、少しでも市のほうにお金を上げる算段をすれば、幾らかこっちの織物市場の修理のほうにもう少しかけられるんじゃないかと思うんですけど。あのままだと土台と柱関係はしっかりしていますが、屋根を見たときに、風が吹いたら飛ぶんじゃないかと思うんですよ。危なくてしょうがないと。壊すには壊せない建物ということで、ちょっと考えて。

市長 織物市場については、市で買ったというふうに皆さん、認識されていると思うんですが、厳密に言えば、市ではなくて土地開発公社というところで買ったんです。だから、名義は川越市土地開発公社という名義に登記上の名義はなっていますが、その土地開発公社というのは、柔軟に例えば道路用地なんかを買えるような、そういう仕組みとしてあるものだから、土地を確保するのが本来の目的であって、活用

する団体ではないんですよ。そうすると、土地開発公社のまま利活用できないという、だから名義を市に引き取らないと実際の利活用できないという、そういう縛りがあるんです。土地開発公社が借金して買ったんですけども、山崎家別邸も同じ手法で買ったものだから、今までほとんど年に数回、イベントのときに公開するぐらいの利用と言えない、活用と言えない方法しかできなかった。ここのところで山崎家別邸については、たまたま昨年度、平成 24 年度の年度末の国の補正予算で、そういうものに使える補助金が出るというので、それを利用してここのところで市で引き取るといことにしたんですよ。だから、山崎家別邸は間もなく本格的なオープンというか、数年のうちには皆さんに観光客の人に常時入ってもらえるような、そういうような形にできるんだけど、織物市場のほうは、まだ土地開発公社の名義のままだから、残念ながら使うわけにいかないんです。引き取ればいいじゃないかと、もちろん言われるんですけども、なかなかお金が、先立つものがないから、しばらくそういう状態が続いてしまっている。だから、なかなか何でああいうままだという、そういう疑問が市民の皆さんの間に生じているんですが、今、言われました道路というか、入り口のせめて砂利をもうちょっと気のきいたものにするとか、その程度は利活用ではなくて、ちょっと別の名目でできると思うので、それはなるべく早く対応したいと思っていますし、それから早く市のほうで引き取って、本格的な活用をしたいとは思っていますが、まだまだ数年は少なくともかかるだろうと、そういう見通しなんです。

意見 そうすると、あそこでイベントをやっていますよね、この間も桐生の、あれは。市長 あれはあの地域の織物市場の会が、あそこを利用してやってくれているイベントなんですよ。ですから、市が利用しているというんじゃなくて、使って構いませんよと市が言って、あの地域の人にそういうことをやってもらっているという、そういう状況なんですよ。

意見 すみませんが、建物の話が出たので。つい最近、伺ったんですが、蓮馨寺さんの前に、鶴川座、あれは小歌舞伎ができるような舞台なんですよってね。回り舞台みたいな。そこを何とか蓮馨寺さんが観光協会の会長ですし、そのときに市長のほうからお願いして借りるなり何かして、市として残してもらって、そういうものを小江戸川越で何か素人演芸とか、年寄りばかりになりますので、そういう年寄りが楽しめる、そういう場所を確保しておいてほしいなど。壊すのはもったいないし、蓮馨寺さんが観光協会の会長のときに、市長さんとお話しして、何とか残してもらえないかなと思ったんですよ。この間、聞いたんですよ、蓮馨寺さんの持ち物だって。だったら、今、観光協会の会長をやっている間に、市長と話をして何とかならないのと。じゃ、それ

を言ってくれと言われたので、女性が言ったほうが市長も聞かだろうから、ぜひ。壊すのはもったいないですよ。小歌舞伎ができてね、ちょっとそういうものが日本的なものができるんでは、川越市にぴったりじゃないですか。

市長 それについて、思いは同じでございますので、今年、織物市場と鶴川座については、うまく市のお金でなくて、民間のお金を活用して利用する方法がないだろうかという、そういう研究を今年やるという予定ですので、もし、うまく方法が見つければ、民間の人にお金を出してもらって整備して、皆さんに使っていただくとか、そういうようなこともできると思います。

意見 ぜひ、お願いいたします。

#### 《連休中の人出》

意見 この連休はとても人が出ましてよかったんですが、横浜から開通しましたので、そういう方は今日も随分団体で来てくれましたし、菓子屋横丁、一番街の蔵づくりもそうだと思うんですが、結局、皆さん、よかったんじゃないかと思えますけどね、ちょっとそういう結果の発表だけなんですけど、とても今年の連休はよかったですね。

市長 いや、本当に今年の連休は随分例年になく人が出ていましたよね。

意見 そうですね、子どもさんも大勢来てくれましたしね、本当に良かったです。

#### 《空き家の活用》

意見 いろいろと話があっちへ行ったりこっちへ行ったりと思うんですけど、まず子どもが少ないということと、私個人的に5月5日は子どもが我が家に来て、何か来たらちょっとプレゼントと小袋のものを用意しておいたんですけど、本当に差し上げることもなく終わりました。

あと、私の目の前に町家づくりのお宅があって、2年前の震災があったときから、すごく崩れてしまっていて、雨どいが垂れ下がっていて、あれが観光客の頭の上に落ちたらどうしようかなと毎日シャッターをあけるたびに思っていて、それをどこに言っているか、町内の会長さんなり商店街の会長さんに言ったほうがいいんだけど、それも目にしてくださっているのかなというところがありまして。

昔から思っていたんですけども、そこのお宅を何かお茶を飲めるような、そういうところに使っていただけたらなと思うんですが、その管理をどういうふうにしたらいいのか。町内の方とか老人会の方とかと、そういう話とか、こういうふうにしたらいという意見交換というのもなく。私に時間があつたら、皆さんにお声をかけたいんですけど、我が家が製造を家族だけでやっていて自分のうちの仕事だけで精いっぱい、こういう意見をどこに持っていったらいいかもわからないし、その運動する時間

もないんですよ。だから、ここのところで今ちょっと話させてもらったということで、今日は感謝していますけど。花壇の話も、何年も前から私たちの町内のところも花壇をつくらうという話があって、じゃ、誰が管理するのとかなんとか、そういう感じなんですよ。

雨戸だけその人が管理しているのだから、その人に言えばいいんだけど、なかなかちょっと言えないところがあって。

市民部長 空き家じゃないんですか、そこは。

意見 空き家なんです。それで持っている人はちゃんとわかっているんですけど。

市民部長 空き家のほうは市民部の所管でございますので、後ほど情報をいただければ、私のほうで対応させていただきます。

意見 すみません、よろしくお願いします。

#### 《一番街の状況》

意見 一番街もすごく人が来ているような感じには見えますけれども、店の入れかえが結構あるんです。はっきり言えば家賃に追いつけないという。人がいっぱい歩いてはいるけれども、別にお金をまいて歩くわけではありませんので、その割に、物すごい家賃でみんな生きていますので、結構、入れかわりがあるんですよ。一番街というのは商店街 84 軒あるんですけども、一番街はほかのきつと商店街に比べて、どこよりも先頭立って、みんなで活動する理事たちが、若い連中だと思うんですね。20代から始まって、ずっともう私たちが一番上のほうですので、それでも相当な入れかわりもありますし、空いているところもあります。ですから、いつもあそこはすごいだろうと思っているかもしれませんが、案外そうでもないということなんですよ。

市長 割と家賃が高いんですか。

意見 割とというか、物すごく高いです。すごいです。

市民部長 クレアモール並みじゃないですか、今。

意見 保証金はクリアモールのほうが高いです。家賃が一番街のほうが高いです。

#### 《歩道の整備》

意見 今年の連休は大変皆さん、大勢川越に来ていただきまして、歩いて喜多院とかお不動様、通っていくんですけど、その歩道なんですよ、歩道がもうつくってどのくらいになりますでしょうね、古くなりまして、タイルが方々のところのはがれていて危ないんです。それをちょっと市役所のほうに係の方をお願いしてやっていただいたんですけど、本当の応急処置で変わらないんですよ。ですから、観光客の方はもち

ろんのこと、障害者の方とか、皆さんが安心して通れる歩道を考えていただきたい、そう思っているんですが、いかがなものでしょうか。

市長 久保町通りの歩道ですか。

意見 はい、あそこの通りですね。県道に沿っているんですか、県がかかわっていると思うんですけども、市としてもできますでしょうか。

市民部長 あれは日高県道ですよ。県の話ですから、市のほうからそのようなご要望があったということ、県土整備事務所のほうに伝えておきます。特に県から来ている方がいらっしゃいますので。

意見 よろしく願います。何かやると、ここは市の管理ではないということではねられるんですよ。でも、それでなくて、やはり回答をつないでいただきたい。そういう姿勢がちょっと欲しいと思うんですけども。

奥山副市長 わかりました。県土整備事務所というところが所管をしておりますが、とにかく現状をまず確認をしていただくことが大事なので、それをお願いするとともに、修理が必要であれば、当然していただく必要があると思いますけれども、それについては要請をしてみたい。

意見 とにかく歩きいい歩道にしていきたい。

市民部長 いちのやさんの交差点から成田山に向かう道が、山崎さんのクリーニング屋さんのほうですか、どちらかというところ。

意見 そうです、ずっとでこぼこしています。皆さん、一応、一番近い市役所をお願いするんですけども、それは県ですということではねられてしまいます。

#### 《空き店舗、川越駅東口ペDESTリアンデッキ》

意見 前の空き店舗について、サンロードは2つございます。ただ、持っている方がなかなか貸さなくてもいいというようなお話を聞いたんですけど、やっぱり2軒ですが、あの通りが空いちゃってしまっていて。やっぱり皆さん、景観が悪いというか、ご商売を始めたほうがいいんじゃないかなと、意見なんですけど、もう長いこと埋まっていないんですね。そこがもう何十年とやっていないんですね。そうは言っても、貸さないと言われれば、それまでの話になっちゃうんですけども、感じたことなんですけどね。

それともう一つ、先ほどおっしゃっていましたが駅のところのお花、あそこの通路なんですけど、川越の乗降客が多い割には狭いんじゃないかなと感じるんですね。直してくださいとかというんじゃなくて、そういうすごくお祭りですとか、そういうところになると、私たちはもう町内のサンロード商店街も歩けませんけど、駅に行けない

んですね。あそこが狭い、だから、さっき花壇が汚いんだったら要らないんじゃないかというお話も、本当に少し狭くして、通路を向こうの細いところ、太いほうを広げられると。結構、あそこでチラシを配ったりなんかして、サンロードもそうなんですけど、とても歩きづらい商店街にはなっています。そういうのを感じています。

《住んでいる人たちが住みやすいまちづくり》

意見 私は、せっかく観光客がたくさん来ているんですので、観光客のこともすごくいいんですけども、来た方が川越に住みたいというような感じのまちにしたほうがいいんじゃないかなと思うんです。皆さん、都内に出ちゃったり、上福岡に出ちゃったり、川越市から若い人たちが離れていっちゃっているんです。どうしてかなといつも考えるんですけども、やはり一番街商店街に散歩に行こうかなと思っても、暗くて怖くて、それからあとは今、川越駅とか本川越のところにマンションがたくさん建っているんですけども、皆さん、犬を飼っているんです。ですけども、犬の散歩で朝、行こうかなと思っても、川越、どこをどういうふうに、何か楽しいところないかなというような、観光客のことだけではなくて、住んでいる人たちが買い物できるような、それからちょっと喫茶店でお茶飲めるような、そういうようなことも考えていただければ、皆さん、川越に住んでいる人が川越にお金を落とすしていく。

私も今、お店をやっているんですけども、やはりお店のお客さんが、ちょっと買い物行くので行ってきますと言うと、みんな電車に乗ってどこかへ行っちゃうんです。だから、もっと川越で生活している人たちが買えるようなもののお店が増えるようなことというのができないのかなとすごく思います。

それから、道のことが出たんですけども、私も久保町なんだけれども、観光客とか車がすごく通る割にはすごく細くて、氷川神社からの表参道として、市役所からぶつかる道、市役所の道はすごく広くなって、人がすごく通りやすいと思うんですけども、そこから氷川神社に行こうかなと思って曲がると、もう車すれすれなんです。そこからあとは右に回って、川越高校の前のほうもすれすれで、うちの母が住んでいるんですけども、毎日、車にぶつかっちゃうんじゃないかなと思うような、急激に道が細くなっているんです。ですので、ああいうところも2年ぐらい前に測量には来たんですけども、その測量がいつ広がるかわからないし、その後も報告も何も無いんです。だから、何か近所の人たちは、ここで事故が起きない限り川越市は動いてくれないよというような声も聞くので、やっぱり川越市内に住んでいる人たちが住みやすいまちをつくっていただきたいなと思います。

市長 今のお話に出てきました川越高校のところの交差点から、南北に走る道は、都



市計画道路が通っているんですね。お話に出ましたように、もう2年前にあの交差点から氷川神社にぶつかる部分は測量が終わっているはずなんです。去年あたりは何をやっていたかということ、氷川神社にぶつかる場所のぶつかり方が、神社の要望でどっちかに振ってほしいというそういう要望があったか何かで、その調整ですごく手間取って、それは去年、話がついたというふうに聞きましたので、少なくともあの交差点から氷川神社までのところはそう時間がかからないうちに拡幅には入れると思います。その南側のほうは、一応、都市計画道路としてあるんですが、川越高校寄りのほうの買収予定、拡幅予定の場所が、何かすごく権利関係が何か昔の明治時代の人のままになっていて、今の権利者を探し出すのもとても大変だとか何とか、そんな話を聞いた記憶があるんですが、でもそうは言っても、一応、具体的な計画がありますので、鋭意進めていきたいというふうに考えておりますので。

意見 お年寄りがすごくあの辺多いので。

市長 そのところは本当に車がすれ違えないくらい、電柱があるからというのは、私も通っているからよくわかっていますので、何とかなるべく早く対応しますので。

#### 《川越まつりのルート》

意見 川越まつりのことなんでございますけれども、本川越から蔵のまちのほうに山車がいっぱい集まりますね。そうしますと、お子さんも楽しみにしているわけなんです、山車を引くのに。それも危なくて、人でいっぱいになってしまって、引くロープの中側に入りなさいと言われるんですけれども、それも危ないという感じを、ここ数年経験しているんですね。ですから、川越のおまつりの規模を大きくしていただいて、JRの山手線が右回り、左回りとありますように、1本線ではなくて、こちらの昔の川越街道のほうをぐるっと回れるような感じで何か路線をつくっていただいて、そのおまつりのときには川越のバス、ちょっと控えていただいて、ちょっと外を走っていただくということにして、2本の道路をぐるっと回るような企画ができれば、あんなに人で押し倒されそうになって、これで事故が起きたら怖いわねといつも思っていますんですけれども、ちょっとその点、広くぐるっと2本でできたらいいかななんてちょっと思うんですけど、いかがでございますか。

産業観光部長 まつりの山車、確かに道が狭くて危険な場合もございます。ただ、その山車が回遊するということにつきましては、すごい周りの方にも影響が出ますので、すぐに、はい、そうですかというわけにはいかないことだと思います。皆さんからいただいた意見は持ち帰って、山車の保有町内の協議会というのもございますので、そういうところに、こういう意見もあったというようなお話はさせていただいて、

検討の俎上には乗せたいと思いますが、多分難しいことだと思います。

市長 山車を通るようにするためには、要するに通行止めにしなくてはならないんですよ。ですから、警察との協議がなかなか難しい。警察はそんな広い範囲を通行止めにするのを嫌がるというか、抵抗があるんですよ。去年は90周年ということで、特別に東京街道も丸広のところまで通行止めにしてもらいましたよね。去年初めてですよ、たしか。だから、そういう形で警察とうまく折り合いがつけば、山車が動き回れるエリアを広げることできますので、それは今、部長が言ったように、その地域、それぞれ地域の人にも納得してもらわなきゃならないし、山車保有町内にも納得してもらわなきゃならないし、一番大切なのは警察にもわかってもらわなきゃならないという、そういうがあるので、そういう方向での働きかけは一生懸命してまいります。ただ、あくまでも最終的に決めるのは警察ですので、なかなか難しい面もあろうかと思います。

というのは、今日、小江戸マラソンの役員会があったんですけども、あれも通行止めにするわけですよ。それをなるべく早く通行止めを解除したいというのが警察の考えで、だからハーフとか10キロもタイム制限を設けて、この時間までにここまでたどり着けなかった人は、もうだめだよと、あとは帰ってくださいという、そういうことを今やっているわけなんですけれども、それもやっぱり警察がきちんと早い時間に通行止めを解除したいという、そういう考えを持っているから、なかなか楽しんで走る人にとっては、やや気の毒な面が出ていると、そういう面もあります。

それと同じように、通行止めにするというのは、なかなか警察との協議が難しい面もありますので、鋭意努力はいたしますけれども、ご理解いただきたいと思います。

#### 《観光客用トイレ、自転車専用道路、観光地の自転車駐輪場》

意見 この連休の人出のすごさが、余りにもすご過ぎて、皆さん、呼ぶことばかり考えているけれども、あの混雑を通り抜けて、本当に観光客の人は、あの混雑だったら二度と行きたくないと思われる方がいるんじゃないかなと、ちょっとそちらのほうを心配しました。もうトイレとか、まつり会館のトイレはもううず巻いて並んでいるでしょう、女性のほうが。絶対数が足りないんじゃないかなと思いました。やっぱり女性は男の方より時間がかかりますから、せめてそういうときだけ臨時のトイレを設置するとか、何か方法を考えた上で人を呼ぶという、常につくっておくと、維持費とかかかりますけど、臨時のトイレであれば、もうあその場所に4台とか5台とか置けるはずなんですよ、おまつりのときに置けたんですから。だから、なぜそれをできなかったのかなと、1日目の人出を見れば、もう2日目、3日目の想像はつくわけで

すよ。ところが、一日も置かれなかったんですね。私は、ああいう思いをすると、本当に障害なんか持った人たちなんかは、特に我慢できない人もいますので、何かこのまちは冷たいまちだなと私は思いました。

だから、本当に食べ物屋さんとか、いろんな人たちが、もうすごい目まぐるしい忙しい思いをされていて、そこまで気が回らなかったと思うんですよ。ただ、たまたま私は暇だったものですから、ちょっとトイレはそこを使わせてもらっているのもあって行ったら、もうとんでもない行列なんですね。あれを見たとき、ちょっと、ああ、これでもう川越の印象は物すごく落ちるだろうなと、そういう心配もありました。本当に簡易トイレでいいんですから、やっぱりそのトイレのある場所に、2台でも3台でも少しずつ増やしてあげれば、それで事が済むことというのはたくさんあると思うんですね。やはりそこにもうちょっと気を回すのが優しいまちではないのかなと思うんですけれども。

あとは、また全然話は変わるんですけれども、自転車に私はよく乗るんですけど、このまちの市役所の前の通り、自転車の専用通路がありますよね。ちょっと行くとすぐなくなりますよね。ああいう中途半端なものをつくる必要があったのでしょうか。人間って、危険ならば危険で、常に危険だと思って走るから危険意識があるんですよ。ところが、ああ、やっと自転車が自由に通れる道幅に来たわと思うと、本当に何メートルもないでしょう、あそこは254へ抜けるまでの間に何カ所も変なところがあるんですよ。この道路はどうやってつくったんだろうと、走る人のことを全く思っていないなと思いました。だから、本当に幅が取れないのであれば、むしろ取らないほうがいいんですよ。こちらも気をつけますし、車の人も気をつけるし、すごく中途半端な道路ができたことに、ちょっと私は住んでいて、やっぱりそういう優しさが何か足りないんじゃないかなというのもある。いつもここを通るときに疑問に思っております。

あと、このごろツーリストと言って、専門でいらっしゃる方が増えたんですよ。その方たちが、例えば菓子屋横丁へ入って見るために、自転車をそういう専門の方の駐輪場をちょっとつくっておいてあげると、ありがたいなといつも見かけながら、本当に人のうちの軒先に固めて置いてみたり、やっぱりそういう、あの方たちはあの方たちなりに苦労していらっしゃるのを見ると、やっぱりそういう方たちも、結構、40キロとか50キロとか走られていらっしゃる方もいるので、ちょっと川越にそういう、ああいう人たちの専用の駐輪場をつくっていただくとありがたいなと思いました。市長 ご意見として承っておきますけれども、1号線の自転車レーンについては、う

ちの女房も車に乗れないものだから、いつも自転車を使っていて、前から同じような苦情を言われておりました、あんなだったらつくらないほうがいいと、危ないよというふうに言われております。これからなるべく自転車を活用してほしいという、そういう方向で自転車レーンは増やしていきたいとは思っているんですが、なかなか一遍に全てというわけにはいかない、そういう面があって、これからできれば多くの道を一方通行にして、車道を1車線だけにしちゃって、あとは歩道と自転車レーンにするとか、そういう方向でやっていけば、つながった自転車レーンができるようになるのかなと、そんなことも考えておりますので、若干時間はかかりますけれども、ご理解いただきたいと思います。

産業観光部長 臨時トイレの件につきましては、過去の人出の予測ですとか、そういったものを的確にして、必要なものについては準備できるように研究してまいりたいと思います。

#### 《川越まつりの観光客対策、ワークフェア、企業とのマッチングフォーラムの開催》

意見 私は仙波町のほうとか岸町とか、あちらのほうなんですけど、やはり連休の1日、アトレに行ったんですね。そうしましたら、観光客の方がバスに並んでいる列が尋常でない列が並んでいるのを見て、今まで私、見たことがないぐらいの列ができていたんですね。やっぱり横浜のほうからとか、多分いらっしゃっているんじゃないかなという気がしまして、本当にそのことを考えますと、恐らく川越まつりに関しては、90周年も終わりましたので、全部の山車が出るということは、まずないと思うんですけども、恐らくあちらのほうからいらっしゃる方がかなり増えると思いますので、やっぱりトイレの件とか、本当に今から準備しておかないと、恐らく大変な混雑がまちの中でも起きるし、多分、周辺の駅の近くでも相当込むと思いますので、その辺のところは今から準備していただくといいかなというふうに思いました。

あと、実は私、障害者のほうの支援をしているんですけども、特に就労支援をしているんですが、今、自立支援協議会というのがありまして、その中で雇用促進の啓発事業として、川越市のワークフェアというのを、ぜひやってほしいという意見が今出ているんですね。やはりワークフェアということですから、商業にも当然、関係ありますし、あとは川越の企業さんたちにもう少しそういう障害者に対する雇用とかをもっと考えていただくようなことを啓発するような、本当にそういう事業というのは今までやっていないと思いますので、ぜひやっていただきたいと思います。

あともう一点は、県のほうで企業とのマッチングフォーラムというのがあったんですけども、うちもそれに出て、そこからの出ていらっしゃった会社さんからちょっ

と声がかかったりしまして、そちらが地域貢献に力を入れていらっしゃる会社さんだったんですけれども、その障害のある方との何かをやりたいというふうな、コラボをしたいということからお話をいただいたりして、そんな形で広がっていったりもしていますので、ぜひ、そういう機会を川越市でも設けていただけますと、障害を持っている方って、いろんな方が本当にどんどん増えていますし、そういった意味で、お母様方たちもお子さんたちの将来を心配していらっしゃるところもありますし、また私は、大人の障害の方の支援をしているんですけれども、そういう方たちも働く場が本当にないのが現状ですので、そういうふうな事業を川越市としてしっかりやっていただけるとありがたいなと思います。

市長 ちょっといいですか。ワークフェアというのは、ちょっと不勉強であれなんですが、具体的にはどういうふうなことをやるということなんですか。

意見 要するに、そういう企業の方たちに障害者の方たちが、こんなことをふだんしていて、その販売をしたり、あとはもう少しその方たちが働けるということ、よく理解していただくようなことを皆さんに見ていただくような場にしていきたいということです。

市長 障害者の人たちが、どんな仕事をやっているかとか、その仕事の成果、作品みたいなものを事業者の人に見てもらおう。

意見 そうです。企業の方たちに、もう少し何か見ていただくような。

市長 そういう場ということですか。

意見 はい、余りそういうのというのはないと思うんですね。ただ、いろんな場で作業所で作ったようなものなど売っている機会はあると思うんですが、川越市のほうでもロビー販売というのをされているので、そういった意味では、川越市の市役所にいらっしゃる方は、そういうことはご存じだと思いますし、駅のアトレの1階にも、市の出先のところの脇でも販売とかしていますが、あれをもっと大きく何か、もう少し大きな規模で、川越市がそういう障害者のことをきちんと理解をして支援をして、企業さんにもうちょっと訴えるような、そういうようなものをしていただけないかなというような話が自立支援協議会の仕事活動部会というところから出ていますが。

市長 県のほうは今、似たような事業とか、そういうものはやっていますか。

奥山副市長 ちょっと詳細はわかりませんが、何かマッチングする機会を設けているかもしれません。障害者の就労支援というのは、かなり今、全国的に大きな課題になっていますので、情報は探ってみます。

《路上喫煙防止、電線地中化、道路の拡幅》

意見 1つ確認をしたいんですけども、川越市というのは、たばこの要するに歩き  
たばここというんですか、そういうものはした場合には罰金を取るような形の東京都み  
たいなものもう決まっているんでしょうか。

産業観光部長 禁止区域はあります。全域が一応路上の喫煙は禁止になっていまし  
て、ある一定の区域、そこでは喫煙していると罰則があるという、実際にそれを徴収  
しているかどうかまではわからないんですけども、そういう一応決まりがございま  
す。

意見 なぜ、それをお聞きしたかといいますと、せんだって交番の方が、一般の方に  
注意をされたんですね。要するに、たばこをつけたまま混雑している中で危険だから  
やめてくださいと。そしたら、そのたばこを吸われている方が、川越市にはそういう  
規定はなかったはずだというようなことをお話をされていまして、それで交番の方  
も、それはないんですけども、一応、皆さんのことを考えて、ちょっとたばこを吸  
ったまま歩くのはやめていただけませんかというような話をしていたので、川越には  
そういう規定はないのかなと、ちょっと思ったものですから、やはりあれは子どもた  
ちの目線からいきますと非常に危険なんですよね。なので、やはり川越のほうもそう  
いう、その場所限定ではなくて、やっぱりある程度を考えられたほうがいいんじゃない  
かなと思いました。

それともう一点は、先ほど言いましたように、川越の道は狭いので、電信柱の地下  
に埋める形の動きというのは、これから少し広がっていくような動きはあるんでしょ  
うか。

市長 電線の地中化は、できればどんどん広げていきたいなと。特に観光客の皆さん  
が歩くような場所については、なるべく早くやりたいなという思いもあるんですけど  
も、実はこの市役所の交差点から札の辻の交差点までの間、2年ぐらい前に地中化  
しようよという、そういう話をしたら、まずキュービクルといって、変圧器をどこに  
置くんだと。路上に置いたら電柱があるのと同じだと。道の外は個人が持っている土  
地だから、個人から買うとか借りるとか、そういうことをしなきゃならないというこ  
とがまず障害としてあると。それからもう一つは、工事そのものがここから向こうを  
やるのに億の単位がかかると言われたんですね。すごくやっぱりお金がかかるんで  
す。東電がお金を出してくれるわけじゃなくて、市が出さなきゃならないということ  
もありまして、電線地中化して、電柱をなくしたほうが、それは一般の通行にとっ  
ても広い感じになるから通行しやすくなるし、見た目もよくなるから、ぜひ促進したい

とは思っているんですが、なかなかそういうこともあって、道を拡幅するとき、併せて電線を地中化するとか、そういうペースでしか今のところできていないんですよ。

意見 その件で、ちょっと加えてお聞きしたいんですが、この川越市街のほうの場所で、要するに道を広くしたりとか、そういうときに、地元の方が余り賛成をしないと、新しい例えば住民の方が、ここはちょっと危なくて不便なので、ちょっと拡張していただきたいというような案が出たときに、ちょっと小耳に挟んだんですけれども、結局は反対されて、それができなかったというお話を聞いたことがあるんですが、それは事実なんでしょうか。

市長 私は余りそういう話は聞いてないですけどね、要は今のところ、町なかで昔からの都市計画道路として拡幅予定、計画があるところはあるんですよ。そこについては、今までいろんな理由から、なかなか進んでこなかったんですけども、今この近くでは、氷川神社にぶつかる道を少しずつやろうということで進めていますし、それから本川越駅前通り線とって、本川越の北側から喜多院のほうに向かって、今、拡幅を進めているところなんです。だから、そういうところは電線の地中化は並行してやっていくという考えでいます。

それともう一つ、東武ホテルの前の道、あれは拡幅したんですけども、ちょっと2カ所ほど契約にいたっていない人がいて、出っ張っているところがありますね。あれも何とか数年のうちにはちゃんときちんとした出っ張りのないスムーズな道路にしようと考えていますし、電柱も中途半端なところに出てきて、すごく危ない状況です。道の1メートルぐらい入り込んだところにまだ電柱が残っちゃっている、あれも早く何とかしたいと思っていますので、別に譲ってくれない人がいるというのは、それは同意してくれない人がいるというのは、それは一部、そういうのはどうしても出てきちゃうんですよ。そういう人がいるから、手がつけられないというわけではないんです。

#### 《織物市場での桐生市のイベント》

意見 桐生の話をしていいですか。先日、連休の前に会長からお電話いただきまして、すぐちょっと時間があれば来てもらいたいということでお誘いを受けまして、織物市場に参りまして、行きましたら桐生の商工会議所の方々だと思うんですが、50名ほどが物産展を、織物市場の狭いところに物産展を何カ所か出して、あと30人ほどの婦人会の方々、ご当地ソングというか、ご当地の買場沙綾市音頭というんですか、3時間置きぐらいに踊っていらっやまして、もうお聞きするところによりますと、

どうも川越のほうで歓迎会なりを開いた形跡がないんですね。ただ来て、市場を開いて、踊りを踊って、そのうち見ていましたら、踊りを踊る 30 人のご婦人方が表通りへだんだん出て行って、踊っていかれるんですね。会長のほうには、どうもお聞きしたところによりますと、桐生の方たちがお見えになるというのを、3 日ほど前にお聞きになって、おかみさん方にご連絡のほうはおくれてしまって、歓迎することもできなかったと。昨年、おかみさん会の研修旅行で、私も連れて行っていただいたんですが、桐生のほうに行ってまいりまして、大変歓迎を受けまして、ちょっとそれを私も見させていただきまして、川越の方がどなたも、何か私もよくわからないんですけども、誰か来て歓迎の一言なり言ったのかななんてすごく心配になりまして、ただ、勝手に売って、勝手に踊って、多分ですけども、勝手にバスに乗ってお帰りになったのかなと。お聞きしたところによりますと、今年で 8 年目、どうも毎年お見えになっているようなんですね。どうも来るたびに、勝手に売って、勝手に踊って帰っていくという、何か余りにも川越の人って冷たい人かななんて思われたのかななんて、去年のすごい歓迎を受けたのを思い出しまして、何というんだろう、寂しい気分がいたしまして、ちょっと会長と一緒に靴下を買って帰ってまいりましたけれども、ちょっとお知らせ方々、どこにお話ししていいかわからないんですけども、そういうことがございました。

市民部長 先ほど織物市場の話が出ましたけれども、川越織物市場の会というのがあるんです。地元の松江町 2 丁目の自治会の方々が、織物市場を保存しようということとで会を立ち上げて、保存計画もつくって、そして自主管理で草むしりとかしています。その一環として、年に何回か提灯祭りだとか、ゴールデンウイークだとか、川越まつりのときに、あそこを開放して利用していこうということで、たしか 4 月 28 日でしたか、やったのは、今年はそうですね。あれは川越織物市場の会主催でやっています。それで一応、織物市場の会からは、招待状は来ていますけれども。ですから、市はどちらかというタッチしてなくて、織物市場の会が向こうと交流をしてやっているということなんで、そこら辺のところの対応については、もしも、ですから先ほど言ったように、桐生に行ったときに、向こうで温かいおもてなしをしてくださったということであれば、逆に織物市場の会だとかが情報を市なりに流していただいて、おかみさん会に流すだとか、商工会議所に流すだとかして、対応はできたのかなというふうに思いますけれども、とりあえず来年も多分、また来年、ゴールデンウイークの前半にやると思います。

意見 すみません、今のこと川越ケーブルテレビの何かニュースでやっていました



よ。

意見 だから、終わった後ですよ、映したのは、間に合わなかった。

#### 《トイレの洋式化》

意見 すみません、またちょっとトイレのことなんですが、高沢橋のところに、やっぱりトイレがありまして、いつもとてもきれいにお掃除していただいているんですが、やっぱり洋式が全然ないんですよ。ですから、あそこを何とか、幾つか洋式をつくっていただければありがたいと思うんですが、よろしく願いいたします。

#### 《街路灯の電気代の補助》

意見 うちのほうの商店街は、川越の一番外れで、並木通り商店街といいます。町内の熊野町と清水町にまたがっています。その商店街の数が 33 店舗で立ち上げた商店街が、現在 19 店舗なんですよ。もうそれだけ少なくなっていて、街路灯はつくってあるんですが、今の 19 店舗では、本数が電灯料で持ち切れなくなる可能性があるんです。今、何本だったか、10 本ほど倒して、数は少なくなっているんですが、ここでまた電気料が上がりました。そうしますと、今、お商売のほうもみんな本当に商売をしているんだかしていないんだかわからないようなお店で、かろうじて開けているようなもので、後継者がいないということで、あと何年もつかないという商店街なんです。街路灯の電気代の補助というのは、何とか考えていただきたいというのが、うちのほうの商店街の希望であり、また倒すといってもお金がかかるんですよ。あそこを全部切っちゃうと暗くなるんです、あの道路が。川越街道から東上線の側に来るまでの間なんです、あそこは全部うちのほうの街路灯を切っちゃったら、本当に暗くなっちゃうんですよ、市のほうの防犯灯だけじゃ、危ないんです。だから、それが補助していただけるのであれば、その手順とか何かを教えていただければ、会長のほうに進言して、手続を通していただけたらと思うんですが。

産業振興課長 すみません、産業振興課の商業振興担当のほうですね、今のお話のような街路灯の設置及び電気料の関係について担当していますので、担当のほうから事情を詳しく伺って、それに対応についてお話をさせていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

奥山副市長 電気代の補助は出しているでしょう。

意見 出ていますよ、各商店会。

意見 建てかえの、それでやはり大分古くなっているから危ないんですよ。

意見 商店会には市からいただいていますよ、ちゃんときちんと。

意見 その金額が足りないのよね、どんどんやめちゃうから。

意見 電気代は補助いただいていますけれども、補助をいただいている電気代と、うちのほうの会費で賄っているのとで、だんだん足りなくなってくるんですよ、電気料が上がるので。

意見 どの商店会もそうなの。それをやっぱり、その商店会で全部賄いながら、市から補助をいただいてやっているの、みんな。

市長 今度、電気代を節約するために、LED化しようという、そういう予定もありますので。それは防犯灯ですか。

意見 やりたいんですけど、商店街はそれだけのやるだけの財力がないんですよ。ですから、少しでも補助をいただけるんでしたらば、その申請をして、LEDに変えたいと会長に進言したんですけど。

市民部長 実は去年、私、市民部長になったんですけども、その中で防犯灯を担当しております。通常の街路灯ね。その中でLED化してくれということで市民から要望がありまして、昨年1年間検討させていただいた結果、電気代が今の防犯灯は40ワットで1カ月260円なんですよ。ところがLEDにすると、同じ明るさで10ワット契約で132円になるんですよ。ですから半分なんですよ。電気料も安くなった分で、その浮いた分でLEDの設置にしちやおうということで今回検討しておりますので、街路灯については、どのぐらいの生産性がとれるかわかりませんが、採算がとれるかわかりませんが、当然、地元の負担分、電気料の負担分も軽減する、まだ設置料が幾らになるかわかりませんが、そのLED化については、市のほうで検討せざるを得ないというふうに思っていますので。

意見 全部の商店街に、そのように働きかけているんですか。

市民部長 防犯灯は、だから商店街じゃないですよ。防犯灯は、あくまで商店街の街路灯ではなくて、通りの民家のやつ、それが今2万灯以上ありますので、それが自治会のほうの市の補助が3分の2、自治会が3分の1を負担しています。ただ、修繕料で年間多分20何万、自治会のほうで負担していますので、それが10万円ぐらいにするとということで、かなり自治会のほうも得になると思います。

《一番街の一方通行、おむつ交換及び授乳スペース、新河岸川の護岸、パパママ応援ショップ川越市版》

意見 私ども、やはり一番街商店街ですので、観光ということで商いをさせていただいておりまして、一番街のいいところというのは、やはりそこに人が住まわられていらっしゃるというところが、観光客の方にとっても魅力だというふうにお伺いいたします。ですので、一方通行の問題ですとか、そういうことで周りの方々に、またすぐく

ご迷惑をかけながら、私どもは商売させていただいているんだなということを十分認識しながら、感謝しながら、あそこで商いをさせていただいているということが、まず第1点でございます。ぜひ、今、観光客の方の安全という面で、一方通行ということもやはり視野に入れていかなければいけないということで、今年度中というお話をちょうだいいたしましたので、そのかわりの裏通りのところの渋滞緩和ということも、ぜひ力を入れて解決して、皆様のご負担をぜひ少ない形でうまくやっていただきたいなというふうに思います。

それとあと、このごろ小さいお子様連れのお客様も大分ふえてきて、乳母車を押したお客様等々もすごく多いんですけれども、やはりおむつの交換をするところですか、授乳をする場所というのが、本当に少なくて困っていらっしゃるというのが現実だと思います。

それと新河岸川のところの整備をなさって、春まつりのときに、桜のところ舟運、舟が出るんですけれども、あれもとてもお客様は喜んでくださっているんですが、ぜひ、新河岸川のところの護岸でも整備がとてもお金がかかることも存じ上げておりますし、あその橋も何本かかけかえないと、そういう舟運はできないということも存じ上げておりますけれども、そこから美術館のほうですとか本丸のほうに抜けられるような、そういうルートができれば、またお客様が喜んで、少し広く回遊してくださる方法なのかなというふうに思います。もしその辺が難しければ、遊歩道ですっと歩いていただけるように護岸に、ちょっとあの季節の花ですとか、巾着田のほうで自然に生えてしまう曼珠沙華ですとか、そういうものがもし上手に活用できたら、そこも1つ、何かお喜びいただける大きな資源になるのかなというふうに思っております。

あと、県が推進しておりますパパママ応援ショップというのがあるんですけれども、そういう川越に住んでもらいたいという、住みたいまちという、そういうまちになってほしいということで、子育てしやすいまちということで、そういうパパママ応援ショップみたいなものの川越市版というのもおつくりになってみたらいかがかなというふうに思います。

#### 《水上公園の遊歩道・新河岸川沿いへ曼珠沙華を》

意見 今、巾着田のことをあれしたんですけれども、実は市長さんに提案なんですけれども、実は落合橋と平塚橋の脇に、何か彼岸花が浮いているそうです。それで、それを取って、根は自分で増えちゃうというので、水上公園の遊歩道のところも彼岸花が植わっているけれども、今からやると10年かかるというので、それを拾えるときになったら、みんなおかみさんたちでもらってきて、そして水上公園の遊歩道のとこ

ろに、鉄の何かでぼんぼんと穴をあけたところに置いていって植えたら、もう一、二年で咲くんじゃないですか。そしたら日高まで行かなくても、日高まですごい込んで、バスも有料になっちゃっているんですね。だけど、そうじゃなくて、もう川越で。彼岸花は、何か毒があって、でも球根に毒があるだけで、結構増えていくので、それはただだから、お金はかからないので、どうかなと思って提案なんです。

市長 水上公園のほうに植えたらどうかということですね。

意見 落合橋のところの脇にずっと咲いているというから。球根が自分で分割するそうなんです。それを別にお金もかからないから取りに行ってもらってきて、そして植えたりしたら。

意見 氷川神社の裏のほうにもたくさん咲いていますよね。それから横丁へ行く道路をずっときれいにしましたけれども、今、おっしゃったように、あそこには相当彼岸花が咲くんですよ。でも、彼岸花が咲くかなと思って出ると、何か市から草刈りが来て、刈っていっちゃうんですよ、きれいに。増やしたら、かなり真っ赤になるころなんです。でも、きれいに刈っていますよ。

市長 本当にまことに行政というのは縦割りで、かつ国・県・市と分かれていて、すごく私としてもやりづらいなと思っている面はいっぱいあるんで改善していかなくてはと思うんですが、今、おっしゃった平塚橋のほうの入間川の土手に生えている曼珠沙華を、こっちへ水上公園に持ってきたらどうかと、それも土手を管理しているのは県なんです。水上公園も県のものなんです。だから、川越市が勝手にやってしまうわけにいけないので、やらせてくださいと言って、こっちで金を出してみなやりますから、やらせてくださいと言えはできるけれども、そういう面があります。今のはご提案として、ちゃんと考えておきます。

氷川神社の裏のあの河川の斜面も実は県の管理なんです。昔からそのところに桜の木をもっと植えたいということを行っているんだけど、県のほうが許可してくれないんですよ。理屈は何かと言うと、土手に木を植えると、流れの邪魔をして洪水になるからと障害はいっぱいあるんですが、私も昔からそういうことを考えているんですよ、実は。もっと曼珠沙華を市内にふやしたら、巾着田とは言わないまでも、もう少し見てもらえるんじゃないかという思いはありますので、それはおいおい、皆さんの協力を得ながら進めていきたいと思っています。

意見 春まつりのとき、舟が出ますよね。氷川様の後ろ、あそこも県のもので、そういうものは植えられないというので、県に内緒で、持って行って植えればいいのか。今、彼岸花、出ていますよね。あれは、勝手に植えていたんですね、それで増え

ているんですね。

市長 市が、そういうふうにやってくださいと言うわけにはいかないですね。

長時間にわたりまして、皆様方から大変有益なご提案であるとかご意見をちょうだいしました。今申し上げたように、いろいろ障害はあるんですけども、できる限り取り入れて、皆様方のご要望に、たとえ少しでも沿っていきたいなというふうに考えております。これからも別にこういう場所でなくても、お考えとかご提案がありましたら、随時、直接言っていただいても構いませんし、ほかの部長とか市の職員をつかまえて言っていただいても構いませんので、今後ともこの川越というまちをよりよくしていくためのご協力を心よりお願い申し上げる次第でございます。

今日は、本当にありがとうございました。